

# 令和4年度武蔵村山市立学校 経営方針

学校名 武蔵村山市立第三小学校

校長名 前川 潤

公印

## 教育目標

- ◎ よく考える子（自らすすんで学習し、よく考える子の育成）
- なかよくする子（思いやりの心をもって互いに助け合う子の育成）
- 元気で明るい子（心と体を鍛え、健康で明朗な子の育成の育成）
- 力いっぱいがんばる子（目標をもって全力でやりぬく子の育成）

## 1 目指す特色ある学校像

- ☆ 確かな学力、健全で豊かな心と体の育成
  - 主体的に学び合う学校  
（個に応じた指導を推進し、自分で決めて取り組む子の育成）
  - 心と体を育てる学校  
（関わりを大切に、豊かな心と健全な体を育み、自己有用感をもつ子の育成）
  - 地域とともに歩む学校  
（地域・保護者とともに地域に親しみを感じ、挨拶のできる子の育成）

## 2 学校経営の目標

### (1) 中期的目標

- 基礎的・基本的な知識・技能の充実を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 道徳教育の充実を図り、豊かな感性と道徳的判断力・実践力を育成する。
- 体育授業と体育的活動の充実を図り、運動に親しむ資質・能力を育成する。
- 英語教育の充実を図り、人や言語・文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育成する。
- 地域に開かれた教育課程を目指し、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。

### (2) 本年度の目標

- 授業や活動において、選択の機会を設定する、自己の成長や努力の可視化を図る等、様々なしかけを工夫し、主体的に関わる態度を育成する。
- 道徳授業を中心に、児童相互に意見を交わす場面設定し、自己の考えの深まりや広がりをもてる指導を工夫する。
- 行間体育として、週1回の「丘の上スポーツタイム」を継続し、多様な動きを身に付け、体力向上及びスポーツに取り組む関心・意欲を育成する。
- 英語学習の年間計画にしたがい、教材・資料を効果的に活用し、英語支援員、ALTと連携し、コミュニケーション能力と豊かな国際感覚の醸成を推進する。
- 総合的な学習の時間を中心に、各教科・領域等のつながりを考慮し、学年ごと教科別年間指導計画表を作成する。（カリキュラム・マネジメント）

## 3 目標達成上としての課題

- 児童の主体的に関わる姿勢を育成するために、学校組織として取り組めるか。
- 道徳の授業の中で、考える・話し合う活動を具体的に位置付けられるか。
- 発達段階や系統性を考慮して効果的な体力向上の取組を継続できるか。
- 高学年の英語学習において、コミュニケーション力としての聞く・話す力を高めながら児童の主体的な姿勢を高められるか。

## 4 経営の具体策（キーワード）

### 【基礎学力の向上】

授業規律、言語力向上、読書活動推進（読み聞かせ・朝読書・旬間・表彰）、朝学習、東京ベーシックドリル効果的活用、少人数算数指導充実、タブレット端末・eライブラリの有効活用、ウォーミングアップ（朝、導入時の工夫）、復習の定着化

### 【主体的な関わりや態度】

主体的で対話的な深い学び（ウォーミングアップ、選択・見通し・自力解決・話し合い・振り返り、視覚化・焦点化・共有化等）ICT活用、マイチャレンジ宿題選択制

### 【思考力・判断力・表現力】

既習した力からの自力解決、ペア・グループでの話し合い、想像力の育成、プログラミング学習、プレゼンテーション型の活動、論理的・多面的思考

### 【道徳授業の充実】

考えの深まり・広がり、葛藤場面の設定、地区公開講座（意見交換）

### 【オリンピック・パラリンピック教育レガシー】

丘の上スポーツタイム（朝運動）、縄跳び、持久走  
伝統文化、郷土理解、豊かな国際感覚の醸成（国際理解）、障害者理解

### 【英語教育】

高70時間・中35時間・低20時間実施、教材資料活用（ICT活用、絵カード）  
ALT・英語支援員・中学校教員との連携充実、聞く・話す力、英語教室ヒルトップ

### 【健全育成】

挨拶、登下校時の歩き方、集団生活での注意、食育指導、SNSリテラシー  
いじめ防止アンケート実施、挨拶・安全・後片付け、いじめ・不登校委員会

### 【特別支援教育】

特別支援教室の充実、理解教育推進、校内委員会（毎月）、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・教育相談室との連携、組織的な対応

### 【保護者・地域との連携】

学校運営協議会、地域・保護者との協働（ゲストティーチャー・参加型活動）、ホームページツイッターでの情報発信、学校関係者評価、グリーンサポーター  
保護者相互の懇談機会の設定

### 【校務改善】

経営支援会議（副校長・主幹教諭・事務・サポートスタッフ・清掃管理員）  
カリキュラム・マネジメント（年間予定一覧で教科横断的カリキュラム確認）  
スクールサポートスタッフの有効活用、校務の効率化推進（働き方改革）  
コロナ禍における行事・教育活動スリム化の推進

### 【人材育成・サービス事故防止・その他】

指導と事務効率化の共有化を図るOJTの実施、ウィズコロナを意識したハイブリッド教育活動、サービス事故防止研修（主幹教諭・主任教諭による研修の推進）

### 【小中一貫教育推進に向けた方策】

- ・高学年定期テストの実施
- ・中学校英語担当教員TT・児童生徒の交流
- ・中学生による読み聞かせ
- ・中学生キャリア交流、小中一貫教育の日（合同授業研究）
- ・三中校区教育推進（標語・ふれあいフェスティバル・講演会）の見直し

## 5 年度末のチェックポイント

- 基礎・基本の習得を進めることができたか。（ベーシックドリル、eラーニングの変容等）
- 主体的な学びを進めることができたか。（選択場面、マイチャレンジ自主学習の推進）
- きまりの意味を理解する指導を進めることができたか。（実態・観察等）
- いじめの早期発見に努め、安全な学校環境をつくることができたか。（対応結果等）
- 道徳的心情や実践力等、心の教育を進めることができたか。（授業と評価の充実）
- 地域・保護者の参画を推進できたか。（学校行事・CS行事への参加数・意見等）
- 校務改善を進めることができたか。（効率化、残業時間、活動見直し、意見等）
- 学校評価、学校関係者評価（CS）の結果